

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙 No.44 平成17年12月1日発行

「大道芸ワールドカップ2005」救護ボランティアに協力

～多くのボランティアとの出会い、そして熱く過ごした4日間～

11月3日(木・祝)から6日(日)までの4日間、静岡の秋のイベント「大道芸ワールドカップ in 静岡」が、今年も盛大に開催されました。静岡市が政令指定都市に移行し、初めての記念大会。最終日はあいにくの雨にもかかわらず28万人、4日間で約198万人の来場者がパフォーマーたちの芸を楽しんだそうです。赤十字看護奉仕団と共に、本団が救護ボランティアとして協力したのは今年で4年目。駿府公園南・北・青葉イベント広場の計3ヶ所に設置された救護ブースに別れ、救護にあたりました。

初日・2日目には、救急車の要請等もありましたが、いずれも大事には至らずにすみました。本団の適切かつ迅速な救護活動は、大道芸実行委員会からの期待が大きく、他のボランティアとも来年の再会を約束し、無事に活動を終えました。皆さん、ご協力ありがとうございました。(イベント救護部会)

「静岡県赤十字奉仕団活動発表の集い」開催!

「人道・博愛の精神に基づき、日頃から取り組んでいる奉仕活動を発表することにより、今後の奉仕活動の活性と、県下に情報を発信し地域の信頼を得、社会の要請にこたえていくための奉仕活動の発展を図る」ために、11月23日(水・祝)午後1時から静岡市追手町の「しずぎんホール・ユーフォニア」において開催されました。当日は、県下の地域奉仕団、特殊奉仕団等約430人が集い、地域奉仕団の代表で伊豆市・藤枝市・浜北市が、特殊奉仕団の代表で無線・芸能が、「ハンドベルの演奏」「寸劇」「大道芸」と、各団が趣向を凝らして活動発表をいたしました。

本団は、万が一に備えて会場内の「保安」を担当いたしました。事故もなく無事任務を果たすことができました。(赤十字事業部会)

介助員・支援員フォローアップ講習会について

「介助員・支援員としての知識・技術の向上をはかり互いの親睦を深め、赤十字の理解者を増やし、赤十字安全奉仕団の紹介をし、ボランティアとしての活動の場を提供する」ことを目的として、家庭看護法12月20日(火)・幼児安全法12月21日(水)いずれも10時～16時、日本赤十字社静岡県支部にてフォローアップ講習会を開催致します。家庭看護法は、すでに定員に達しましたが、幼児安全法については、まだ募集をしていますので、県支部までお問い合わせください。(訓練・研修部会)

今月の眼(見た)・耳(聴いた)!「今年も猛威?インフルエンザについて」

毎年12～3月頃の寒い時期、空気の乾燥などによりインフルエンザは流行します。

インフルエンザの主な症状は、悪寒・頭痛などから始まり、感染して1～2日後に、40度前後の高熱が出ます。続いて、せき・鼻水・のどや関節の痛み・吐き気・下痢などの症状が急激に現れます。

感染力が非常に強く、通常の風邪よりも症状が重いのが特徴です。毎年流行するウイルスの型は違いますが、予防接種を受けることで、軽い症状ですむことがあります。接種してから2週間以上経たないと効果がないので、早めに接種するとよいでしょう。ただし、卵アレルギーのある子どもは受けられないこともあるので、注意しましょう。また、予防として…うがい・石鹸を使っての手洗いを心がけ、室内の温度や湿度にも気をつけましょう。感染力を弱め、免疫力を高める働きのあるお茶でのうがいも効果的です!!お試しアレ!!(機関紙・広報部会)